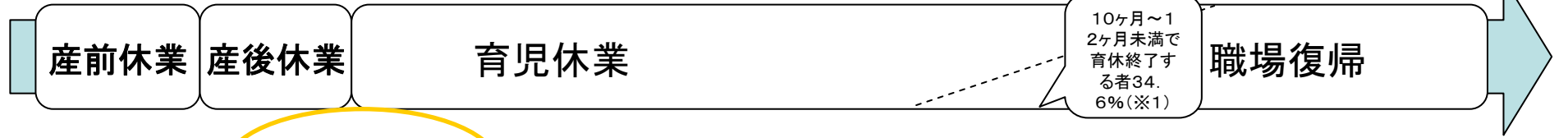


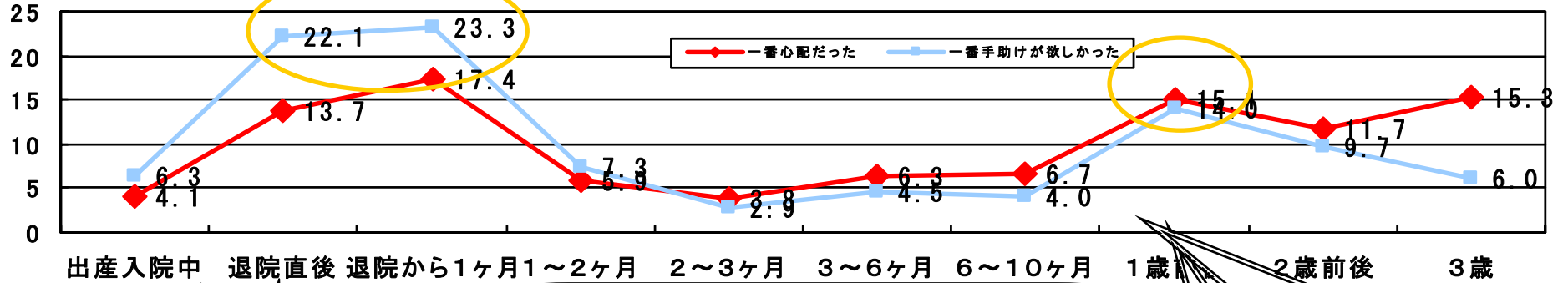
父親の育児への関わり方（現状とニーズ）

資料3

妻の継続就業する場合のライフコース



妻の「育児について一番心配な時期」(※2)



妻のニーズ

夫のニーズ

現状

○出産に立ち会ったか(※3) した 46.6%
しなかったけれどできなかった 28.2%

○産後8週の休業取得希望(※4) **ぜひとりたい 26.4%**
できればとりたい 37.9%

○末子の出産時に休暇を取得した男性の割合(※5) 50.4%
その際に利用した休暇制度(※5)
「年次有給休暇制度」 56.0%
「出産休暇制度」 54.0%
「育児休業制度」 2.4%

○夫に対する育児休業取得についての意向(子育て層)(※6)
ぜひ機会があれば育休を取得してほしい 15.4%
取得してほしいが、現実的には難しい 36.5%

○男性本人の育休取得についての意向(潜在的ニーズ層)(※7)
取得したい、できれば取得したい 34.1%
○子どもと過ごす時間(理想)(※3)(上位3位)
1~2時間未満 23.9%
2~3時間未満 32.6%
3~4時間未満 18.7%

○男性の育児休業取得割合(※1) 0.5%
○取得期間(※1)
1か月未満 31.7% **1か月~3か月未満 65.8%** 3か月~6か月未満 1.5%
○取得時期(※4注) 子どもが3か月未満のとき 86.7%
○取得しなかった理由 妻が育児休業を取得したから育休を取得しなかった(※4) 45.8%
○子どもと過ごす時間(現実)(※3) 30分~1時間未満 19.6%、**1~2時間未満 27.0%**
2~3時間未満 17.0%

○育児休業を取得して特に大変だった点(女性)(※8)
復帰した時、職場の環境が大きく変化していた 29.0%
○職場の様子が気になり不安だった 10.3% その他、復帰後過労のために体調を崩したという声もあった。

○いわゆる「ならし保育」の時期が職場復帰と重なるため、職場復帰前に「ならし保育」をしてほしいというニーズの存在(※9)
○ならし保育の期間 数日~数週間

*1)厚生労働省「女性雇用管理基本調査」平成17年度 *2)大阪府「地域母子保健サービスに関する研究~新しい乳幼児保健活動の標準方式の策定のための研究(平成15年)」 *3)ベネッセ次世代育成研究所「乳幼児の父親についての調査」平成15年 *4)日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査報告書」平成15年 注)取得割合が低いと、数自体が少ない *5)ニッセイ基礎研究所「男性の育児休業取得に関する調査」平成14年 *6)子ども未来財「子育てに関する意識調査」平成12年 *7)労働政策研究・研修機構「仕事と生活の調和を可能にする社会システムの構築に関する研究」(平成19年) *8)高知県 育児休業取得職員に対するアンケート調査 平成17年度(n=226) *9)厚生労働省「持続可能な地域社会づくりモデル調査報告書」平成17年、ある市の保育園再編計画に寄せられた意見(平成19年)